

農業は、生産活動を通じて豊かな食生活の基礎を築くだけでなく、洪水や土壌浸食の防止、水資源のかん養など多面的な機能を通じて、みどり豊かな国土や環境の維持形成とその保全にも貢献しています。

当会は、島根県を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となっているＪＡが会員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半がＪＡにお預けいただいた農家組合員及び地域の皆さまの大切な財産である「貯金」を源泉としております。その資金は、農家の皆さまやＪＡ、農業に関連する企業・団体及び県内地場企業や地方公共団体などにご利用いただいています。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、ＪＡとの強い絆とネットワークを形成することによりＪＡ信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の継続的発展に努めております。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供のみならず献血互助会を組織して日本赤十字社の献血に協力しているほか、役職員が地域活動や行事に参加し、社会的貢献活動に取り組んでいます。

金融犯罪防止への取り組み

○金融機能の不正利用防止に向けて

インターネットバンキングをめぐる不正送金被害が全国的に急増していることを受け、迅速な通報と再発防止に向け、島根県警と平成25年8月27日に「サイバー犯罪に対する共同対処協定」を締結しました。

○反社会的勢力等への対応

当会は、「反社会的勢力等への対応に関する基本方針」の制定に加え、島根県暴力追放県民センター及び島根県警と連携して「ＪＡバンク島根・暴力追放県民センター情報連絡会」を設置しており、反社会的勢力に対しては、断固とした姿勢で臨むこととしています。

今後もこの連絡会等を通して情報を共有化し、反社会的勢力の資金源となる取引を防ぎ、排除するため官民一体となり取り組んでいきます。

災害支援の取り組み

○関東甲信地方の豪雪災害被災地支援

平成26年2月の関東甲信地方を中心とした豪雪災害を支援するため、県内全ＪＡで組織した「平成26年豪雪災害ＪＡグループ島根支援隊」を派遣し、被災した農業用施設等の撤去作業を行いました。

○東日本大震災復興支援

東日本大震災被災地の復興活動を支援するため、26年度も引き続き、県内全ＪＡで組織した「東日本大震災ＪＡグループ島根支援隊」を派遣し復興支援活動を行いました。

今後もＪＡグループ島根が一体となって復興支援に取り組んでまいります。

地域からの資金調達・地域への資金供給の状況

地域からの資金調達の状況

(単位：百万円、%)

預り先		平成25年度	平成26年度	対前年度増減		平成26年度 平残
				金額	比率	
農協	総合農協	542,758	597,336	54,578	10.05	596,028
	その他農協	53	-	△53	△100.00	42
	小計	542,812	597,336	54,524	10.04	596,070
会員	全国連・連合会	1,756	-	△1,756	△100.00	1,086
	会員の組合員	32	26	△6	△18.65	27
	准会員	9,492	-	△9,492	△100.00	9,459
	計	554,094	597,363	43,269	7.80	606,645
員外	地方公共団体・非営利法人	20,972	32,314	11,342	54.08	56,433
	金融機関	17	9	△7	△44.02	19
	その他	4,838	16,656	11,818	244.27	8,188
	計	25,828	48,981	23,152	89.64	64,641
	合計	579,922	646,344	66,422	11.45	671,286

地域への資金供給の状況

(単位：百万円、%)

貸出先		平成25年度		平成26年度		対前年度増減		平成26年度 平残
		先数	金額	先数	金額	金額	比率	
農協	総合農協	7	6,171	1	2,614	△3,557	△57.63	2,935
	その他農協	2	79	0	-	△79	△100.00	74
	小計	9	6,251	1	2,614	△3,636	△58.17	3,010
会員	全国連・連合会	1	4,887	0	-	△4,887	△100.00	3,978
	会員の組合員	3	86	7	88	1	1.99	82
	准会員等	3	72	1	3	△69	△95.85	145
	計	16	11,298	9	2,706	△8,592	△76.04	7,216
員外	地方公共団体・非営利法人	5	7,540	5	6,682	△857	△11.37	6,855
	金融機関	1	12,579	1	13,579	1,000	7.94	12,909
	その他	30	6,829	25	8,523	1,694	24.80	5,835
	計	36	26,948	31	28,785	1,836	6.81	25,599
	合計	52	38,246	40	31,491	△6,755	△17.66	32,816

島根県債の引受け

平成26年度の島根県債の引き受け（銀行等引受債）は、新規発行額232億円のうち40億円でした。これは、総発行額の17%のシェアを占めており、地域に対する資金供給に貢献しています。

中小企業の経営改善のための取り組み

当会は、お客さまからの新規融資や貸付条件の変更等の申込みがあった場合には、お客さまの特性及び事業の状況を勘案しつつ、できる限り、柔軟に対応するよう努めております。

農業メインバンクとしての取り組み

平成26年度産米価下落に対する取り組み

平成26年度産米の過剰基調を起因として米価格が下落し、米生産者の円滑な資金繰りが懸念される状況となったため、米生産者の当面の稲作経営に必要な資金確保を目的として、以下の取り組みを行いました。

○「平成26年度稲作経営安定緊急対策資金」に対する利子補給

島根県が認定農業者、集落営農等を対象とした「平成26年度稲作経営安定緊急対策資金」を創設したことに伴い、当資金の貸付金利が実質0%となるよう利子補給を実施しました。併せて、基金協会保証料についても当会が全額負担しました。

平成26年度は、108千円の利子補給を行いました。

○稲作経営緊急対策（ＪＡ独自資金）に対する保証料の助成

上記資金の貸付対象者に該当しない米生産者に対して、稲作経営緊急対策として融資されるＪＡ独自資金に対して、当会が基金協会保証料の全額を助成しました。

平成26年度は、1,758千円の助成を行いました。

ＪＡバンクアグリサポート事業

ＪＡバンク（ＪＡ・信連・農林中金）では、日本の農業・農村に対して、より踏み込んだ支援策を展開し、自らの社会的使命に添えていくため、ＪＡバンクアグリサポート事業を展開しています。平成26年度において以下の事業に取り組みました。

※ 当該事業の実施主体であるＪＡバンクアグリ・エコサポート基金は、平成19年10月に農林中央金庫の基金拠出により設立され、さまざまな事業に取り組んでいます。

○ＪＡバンク利子助成事業

厳しい経営環境に直面する多様な農業の担い手への支援として、ＪＡバンクアグリ・エコサポート基金が、県内ＪＡが融資する農業関連ローンへの利子助成を行うものです。

平成26年度は、ＪＡバンクアグリ・エコサポート基金より、融資案件1,295件に対し総額17百万円（1件あたり13千円）の助成金を交付しました。

○ＪＡバンク新規就農応援事業

ＪＡバンクアグリ・エコサポート基金は、平成22年度からＪＡバンク新規就農応援事業を展開しています。

この事業は、将来の国内農業における担い手として期待される新規就農希望者を育成するための研修を行う研修受入先の取り組み支援を通じ、新規就農希望者の独立就農を後押しすることにより、地域農業の振興・発展に貢献するものです。

ＪＡバンク島根では、これまで7先の受入先から、9件・1百万円の申請を受け助成しました。

○JAバンク食農教育応援事業

JAバンクでは、次代を担う子どもたちが食、環境等と農業のつながりを意識し農業への理解が深まるよう、「JAバンク食農教育応援事業」に取り組んでいます。

～食農教育・環境教育に関する教材の贈呈～

平成26年度は、食農等の教育活動の充実を図ることを目的に、JAから県内213校の小学5年生に対して補助教材本「農業とわたしたちの暮らし」をお届けし、授業等で活用していただきました。

あわせて、この教材本の特別支援教育版も制作し、4校にお届けしました。

～JA教育活動助成事業～

子どもたちの農業や自然環境、金融経済に対する理解を促進するため、JA等が子どもたち向けに「あぐりキッズスクール」などの農業体験学習をはじめとする教育活動を実施し、この活動に対して助成を行うことでサポートしています。

平成26年度は17団体（県内JAなど）に対し33件・9百万円を助成しました。



農業担い手支援に向けた取り組み

J Aバンク島根では、農業専門金融機関として、農業担い手に対する資金対応や利子助成事業など金融面からのさまざまな支援策に取り組んでいます。

○農業メインバンクCS（顧客満足度）調査の実施

多様化する農業者のニーズに応えるため、メイン強化先（大規模農家等）からのJ Aに対する評価・満足度を計測する、農業メインバンクCS調査を実施しました。本調査は平成24年度より始まり、これまで9 J Aで実施しました。調査結果をもとに、農業担い手から選ばれるJ Aバンクを目指して、改善活動に取り組んでいます。

○農業担い手を支援する資金

資金名	概要
農業改善促進資金 (スーパーS資金)	「認定農業者」の方の農業経営に必要な運転資金を低利で提供する短期の制度資金です。設定した借入枠の範囲内で何度でもお借入れとご返済ができ、効率的にご利用いただけます。
農業近代化資金	農業の「担い手」の経営改善のための長期で低利な制度資金です。施設の取得・拡張、設備・機具購入、長期運転資金など幅広い資金調達をサポートしています。「認定農業者」の方には、さらに金利優遇等の特例があります。
アグリスーパー資金	水田経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の対象者となる「認定農業者」の方に対し、農業経営に必要な資金を低利で提供する短期の運転資金です。
担い手応援ローン	J Aにおいて税務対応支援を受ける農業者の方に必要な運転資金を迅速に対応します。
アグリマイティー資金	施設の取得・拡張、設備・機具購入から短期の運転資金まで、農業に関するあらゆる資金ニーズに対応できます。制度資金よりも迅速な対応が可能です。
J A農機ハウスローン	組合員の方が農業生産性向上のため農業機械・ハウス等を取得する際に、迅速かつ簡便にお借入れいただける資金です。
農業経営応援資金	農業経営の意欲と能力を有する、農業収入が50万円以上（新規就農後2年未満の方は計画書の提出で可）の農業者の方に対し、農業経営に必要な資金をご提供します。

これらの資金は、J Aバンク利子助成の対象となり、最大1%の利子助成を受けることができます。（ただし、アグリマイティー資金及び農業経営応援資金は、資金使途が農機・ハウスであって借入期間が10年以内のものに限ります。）

商談会（食農マッチングフェア）の開催

従来より、生産者から融資等の金融面でのサポートだけではなく、販路拡大や6次産業化に向けたサポートへの要望が多く寄せられている現状を踏まえ、当会は商談会（食農マッチングフェア）を平成27年2月17日、リーガロイヤルホテル広島を会場に、中国5県のJ Aバンクと合同開催しました。

この商談会では、セラー71団体（県内12団体）、バイヤー151社（県内7社）が参加し、島根県の生産物の魅力を発信するとともに、生産者と加工流通業者とのビジネスマッチングにより生産者の販路拡大の支援ができました。



生活メインバンクとしての取り組み

JAバンク島根の相談会

○年金相談会

JAバンク島根では、組合員・地域の皆さまの年金に関するご相談に応えるため、無料年金相談会を開催しています。平成26年度には、県内で延べ205回の相談会（相談件数1,351件）を開催しました。この相談会は、平日お勤めの方にご相談いただけるように夜間、休日にも開催しています。

今後も、年金受け取りや各種手続き方法、「ねんきん定期便」の見方など年金に関する様々なご相談にお応えするために、相談会を継続開催してまいります。

なお、当会では、年金相談会開催の支援、年金研修会開催・トレーニー制度による年金担当者の育成など、JA年金相談の更なる充実に取り組んでいます。

○休日住宅ローン相談会

JAバンク島根では、利用者の皆さまによりお気軽にご相談いただけるよう、「休日住宅ローン相談会」を開催しています。

平成26年度は、5月18日（日）、8月3日（日）、10月19日（日）及び1月18日（日）の4回を県内統一開催日とし、新築やお借換のご相談にお応えしました。日曜日の開催で、平日お勤めの方もご家族連れでご来場いただき、延べ583件のご相談をいただきました。

JAバンクは皆さまのご期待にお応えするため、引き続き休日住宅ローン相談会を開催してまいります。

JAバンク島根のキャンペーン

JAバンク島根では、組合員及び地域の皆さまにJAバンクのサービスをお得にご利用いただくために、需要時期にあわせて様々なキャンペーンを実施しました。



「平成26年度のJAバンク島根PR」※ 左から、住宅ローン、カードローン、貯金、給与振込。

これらのキャンペーンでは、島根の特産品等が当たる懸賞やクオカード等のプレゼントで利用された皆さまに喜んでいただきました。JAバンク島根では、これからもタイムリーなサービス提供に努めてまいります。

島根県産材及び石州瓦を利用した住宅への住宅ローン金利引下げ措置

島根県内JAは、島根県産材の需要拡大、県産材を活用した良質な木造住宅の建築及び石州瓦等
 地場産材の利用を促進し、木材産業・住宅産業・地場産業の活性化を図るため、県産材及び石
 州瓦を一定量以上利用した住宅を対象に、住宅ローン金利を引下げる制度を継続実施しています。

【制度の概要】

取扱期間	平成27年4月1日（水）～平成28年3月31日（木）
対象住宅ローン等	住宅ローン「とくとくプラン」（当初 固定金利を年0.1%引下げ）
	リフォームローンⅠ型・Ⅱ型（変動・固定金利を年0.1%引下げ）



「島根がん先進医療費ローン」の取扱い開始

JAバンク島根（島根県内JA・信連）では、平成26年8月から「島根がん先進医療費ローン」
 の取扱いを開始しました。

このローンは、先進医療を受けるがん患者の方やご家族の経済的負担を軽減するために、公益
 財団法人ヘルスサイエンスセンター島根が実施する「島根がん先進医療費利子補給金交付事業」
 に対応したローンです。

JAでは、今後も地域医療と健康長寿社会への貢献に協力していきます。



「島根がん先進医療費ローン」の取扱いに先立ち、公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根と県内JAを代表してJAバンク島根信連が協
 定書を締結しました。

「高齢者向けローン」の取扱い開始

JAバンク島根では、県内の高齢化が進むなか、組合員を始め地域の皆さま方のニーズに応え、高齢者向けのマイカーローンと小口購買ローンの取り扱いを平成26年8月1日（金）から開始しました。

高齢者向けのマイカーローンおよび小口購買ローンは、JAで年金を受給している個人で、最終償還時年齢が80歳未満となる方を対象とした商品です。

JAファンの拡大を目指して

●お客さま目線で、JAのイメージアップ

～CS（顧客満足度）改善プログラム導入と定着に向けて～

JAバンク島根では、組合員や地域の皆さまから親しまれ、将来に向けたJAファンを増やしていくことを目的に、平成25年度より「CS改善プログラム」を導入し、事前の調査で見えてきた課題を全員で共有するとともに「職員自らが考え、自ら動いて改善を形にする。」取り組みを実施しています。平成26年度も引き続き、導入JAでの定着化と新たなJAでの導入に取り組みました。

JAバンク島根信連もこの取り組みを支援しています。

オープン懸賞の実施

●『JAをもっと知ろう！ もっと使おうJAんJAんキャンペーン』

JAバンク島根では、県内11JAの統合を控え、JAのブランドイメージアップ、JAバンク島根の認知度向上を図るため、平成26年7月～27年2月の8か月間、オープン懸賞『JAをもっと知ろう！ もっと使おうJAんJAんキャンペーン』を実施し、JAの特産品やちょりスグッズ等を毎月抽選で20名の方にプレゼントしました。応募はがきに記載されたご意見・ご要望については、JAにフィードバックし、今後の参考としました。

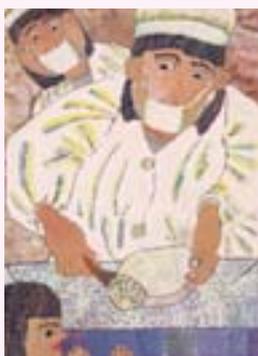


地域貢献への取り組み

みどりを守る児童画コンクール

これからの未来を担う子どもたちに、食料自給や国土作りに貢献する日本の「農業」の大切さと、役割について広く理解を求め、あわせて児童の図画教育の振興を目指すことを目的に「第40回みどりを守る児童画コンクール」を開催し、平成26年度は県内123校から919点の応募がありました。このコンクールは、JAグループが地域に根ざした金融機関であることを広くアピールし、大きな反響を呼んでいます。

特別賞



島根県知事賞受賞作品
「おいしいごはんありがとう」
松江市立八雲小学校3年
いしはら さきこ
石原 沙季子さん



島根県教育委員会教育長賞受賞作品
「新せんなトマト」
松江市立乃木小学校4年
いしまつ しょう
石松 奨さん



山陰中央新報社会長賞受賞作品
「おじいさんとしたサクランボとり」
出雲市立神戸川小学校6年
たかせ ほのか
高瀬 穂香さん



農林中央金庫松江推進室長賞受賞作品
「おじいちゃんと畑のスイカ」
出雲市立中部小学校5年
おそえ ありさ
尾添 有紗さん



JAバンク島根信連会長賞受賞作品
「こんなかぼちゃはじめてそだてたよ」
出雲市立塩津小学校1年
さとう ののか
佐藤 紀乃花さん

表彰式

特別賞の表彰式を平成26年10月19日(日)島根県立美術館第1ギャラリーで行いました。当日は、特別賞入賞者をはじめ保護者、審査員ら約30名の出席がありました。



「第40回みどりを守る児童画コンクール 表彰式の模様」

子育て応援事業への協賛

島根県と県内全市町村が実施する「こっころ (Coccoloro) 事業」の中で実施された「第13回ことのは大賞」、山陰中央新報社が主催した小学新一年生を対象とする「2015年小学校ご入学おめでとう大会」に協賛しました。

第13回ことのは大賞受賞内容

○一般の部

- 知事賞 長野芳成さん (大阪府)
 「“しっかりせんかい” 卒寿の母に叱られる古希」
- 会長賞 梶 政幸さん (千葉県)
 「バイト先 息子の敬語に 泣かされる」

○こっころの部

- 知事賞 道野愛未さん (島根県)
 「おねえちゃん おねえちゃん いわないで、わたしも7才のこどもだよ。」
- 会長賞 小中 瞳さん (島根県)
 「姉上京 急に関東 近くなる」



島根県ゲートボール大会への協賛

当会は、116チーム681名が参加して平成26年7月19日～20日に開催された第33回島根県ゲートボール選手権大会ならびに第30回島根県女子ゲートボール選手権大会に協賛しました。

この大会は、年金受給者を主体とするゲートボール愛好者の皆さまにとって日頃の練習成果を発揮する機会であるとともに親睦と交流の場ともなっています。



「第33回島根県ゲートボール選手権大会の表彰式」

JAカップ島根県グラウンド・ゴルフ大会への協賛

当会は、平成27年3月8日に島根県グラウンド・ゴルフ協会の主催で開催された第1回島根県グラウンド・ゴルフ大会に協賛しました。

グラウンド・ゴルフのプレー人口は年々増加傾向にあり、組合員を始め、地域の皆様から県大会の開催を要望する声も多数寄せられていた中での開催であり、644名が参加しプレーを楽しむとともに、愛好者同士の親睦を深める大会となりました。



「第1回島根県グラウンド・ゴルフ大会の開催風景」